

令和5年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和5年5月29日（月）18時30分～20時45分		
開催場所	岡見まちづくりセンター	参加人数	5
出席議員	三浦大紀、沖田真治、柳楽真智子	議長	○
テーマ別に出た意見	<p>【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちセンと子どもたちとの関わり方は深い。登校の見守りもしている（7年間）。コロナで関わりが少なくなってきた。マスクや会話を減らしたことは大きく変わった。 ・中電の社宅がある。小学生が2家族3名。毎回、所長に家族手当を出してほしいと言ってきた。学校がないところに人は住まない。家族は来ない。もっとPRしてほしい。そのための企業ではないか。7年前は12名いた。前は家族で来ていた事例も多かった。地域でもしっかり応援する。固定資産税だけの話ではない。 ・発電所関係の船籍原簿が浜田にあることで税金が落ちている。 ・三隅保育所に勤務。子どもの数は減っている。子どもたちが少ない中でも育つ環境を作ることが大事。地域との接点増やそうという取り組みしている。状況改善も必要だけど、今いるこどもたちをどう育てていくかが重要。地域の方が保育所や小学校に関わることはいろいろできる。 ・保育園のすぐそばにまちづくりセンターがあるのは良い。小さな地域だからこそできることがある。田植えや芋の苗植えなど。知っているから声かけやすい関係性。みんなで関わろうとしているのが良い。コロナ前は宮の祭などを町ぐるみでやっている姿があった。 ・隣町から見て、神楽の練習などに関わっているのが良い。 ・放課後デイサービスに対して爆発的に予算が増えている。それだけ増えているのは需要があるか、儲かるか。整理すべきでは。地域間格差があるのも問題。 ・中学生の部活動が義務化ではなく自由になった（なぜ）。地域活動も位置付けてもらえば良いのでは。生徒たちがそこに出られるか。中学校くらいになると地域に出てきにく 		

くなる。

- ・まちづくりには新しい考え方も必要。子どもたちに関わってもらおうと新しい視点が入ってくる。

【福祉環境】健康について

(健康寿命が県内でも低いことが問題という現状から)

- ・3B体操やっている。みんなが顔を合わせることが健康の秘訣では。笑いながら話しながら。近所の方々はアクアみすみに通っている。積極的に利用されたらどうか。
- ・JAのところでは、皆さんが出てくる時に血圧を測ったりしている。そういう時にミニ講座などを入れてくれると考える機会になるのでは。
- ・社会協議会の生活支援コーディネーターがいなくなったことが不安。自己管理の問題ではあるが。見守り：自分の健康のために行っている。そうでないと毎日歩けない。1日1万歩。
- ・はまチャレも健康寿命を伸ばすための取り組みでは。友人も取り組んでいるというのを聞く。

→運動・食事・集うというのがテーマ。

- ・漁師町は塩分が高めと言われる。味見もせずに醤油をかけてしまうようなことはだめ。気にしすぎるとご飯が美味しくなくなる。
- ・食改さんが塩分測定器を持って職場訪問している。測定器を全家庭に配ってはどうか。気づきの提供が重要。
- ・コミュニティナースの取組が三隅町内で広がっている。ちょっとした悩みを相談できるような活動が広がるといいと思う。未病。
- ・議会だよりにチェックシートなど啓発用のメッセージ等を載せてはどうか。
- ・民生委員などが役割を担ってはどうか。
- ・子どもに対しては世話しなければいけないが、健康が必ずしも幸せか。自分で決めるべきでは。幸せ度が高ければ良いのでは。

	<p>【産業建設】 農業・林業・漁業の問題点と希望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業の組合員・準組合員だが、規制が厳しくなった。出資をしているのに配当がない。不合理の解消を。 ルールの明確化をしてほしい。とる人がいないから取って帰る人が多い。改善しないと食っていけない。 ・ 田んぼをやめた。地目変更しようと思ったが、雑種地の方が税金が高い。田んぼにしておくと売れない。 ・ 耕作放棄地がたくさんある。小さな土地を持っていて、作りたいけど作れない状況がある。家庭菜園レベルでも鳥獣害対策が必要だけど補助はない。作りたくても大変な状況だと空き地のまま。金網、電柵などに対する助金を検討してほしい。個人でも複数人数で申請することができるようにならないか。みんな、猪対策で明け暮れている。根負けする人が多い。野菜が不足しているという話もあった。家庭菜園すれば食べる機会も増えるのではないか。自分の畑は広いところでいろんな人が作っているが、コミュニティになっている。野菜作りのことなども教えてもらえる。 ・ 人が集まる所（まちセン近辺）に、日中でもイノシシが出てくる状況は改善してほしい。駆除にも配慮を。 ・ 2月、6月は雄が徘徊する。クマは保護しすぎて住むところがないのでは。保護すべきかどうか。果樹を切ることが正しい対策なのか。風車が回っているところもクマはすまない（住めない）。
自由意見	<p>【回答したもの】 ※回答概要も記載</p>
	<p>【持ち帰るもの】</p> <p>【総務文教】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校にいけない子（中学）が岡見でも3名いる。そのうち1人はセンターに親と一緒に来て話すこともある。 ・ 不登校児童の実数はどう変化しているのか。 ・ ヤングケアラーの実態が正確に把握ができていないと聞いた@魅力化コンソーシアム。 ・ 一般教養は学校で学べる。生きる術を地域で教えるべき。 ・ 親御さんの支援が必要。子ども以上に親が悩んでいるので

は。窓口作るだけではだめ。悩みがあったときに助けを求められる何か家庭支援ができないのか。場所があることが地域の力ではないのか。

- ・ご飯を食べられない家族もある。実態は厳しい。
- ・豊か・貧しさの感じ方は様々。
- ・資料館は郷土資料館館長が反対している。

【福祉環境】

- ・ヤングケアラーの実態が正確に把握できていないと聞いた @魅力化コンソーシアム。
- ・親御さんの支援が必要。子ども以上に親が悩んでいるのでは。窓口作るだけではだめ。悩みがあったときに助けを求められる何か家庭支援ができないのか。場所があることが地域の力ではないのか。
- ・ご飯を食べられない家族もある。実態は厳しい。
- ・豊か・貧しさの感じ方は様々。

【産業建設】

- ・三つ桜酒造の活用は？ひゃこるネットで放送された。講演会は誰が主催したのか？伝承館の話に触れられていた。検討委員会がこれからの話なのに、事前にそういう話が出るのはどうなのか。3月11日に放映。案が出るのはいいが。建設する理由がたてば良いが、進め方が悪いのでは。検討するならゼロからやってほしい。

【議会運営委員会】

- ・市民の意見を聞いて、きちんと議会で伝えてほしい。
- ・議員の活動を耳にすることがある。積極的な姿勢が伺える。行政からの提案に是々非々でやってほしい。

令和5年 6月 3日 議会広報広聴委員 沖田真治